

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地区敬老行事支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	65歳以上の市民	意図	住んでいる地域で敬われ、穏やかな生活が送れるようにする。引きこもりを防止する。
事業内容	地区の高齢者を敬い、敬老思想を啓発する小学校区を単位として敬老行事を自発的に行っている地区社会福祉協議会に対し、側面から支援するものである。			
事業開始から現在までの状況変化	事業開始当時は市が主催で実施していたが、高齢者人口の増加に伴い文化会館での開催が難しくなったため、平成4年から市社協に委託し、各地区社協単位での開催となった。地域の特性を活かした敬老会を実現するために、平成15年度からは市内15地区社協の主催となった。 平成28年度からおたかの森小学校区が新たに加わり16地区社協となった。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		地区社会福祉協議会敬老行事開催数	440	416	365	回	
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						各地区社会福祉協議会が創意工夫し、地域の実態に合った催し物を開催している。
	事務事業のコスト						
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,856,000	3,858,000	3,832,400			
事業費(b)(円)		2,350,000	2,485,000	2,490,000			
うち一般財源		2,350,000	2,485,000	2,490,000			
職員給与費(c)(円)		1,506,000	1,373,000	1,342,400			
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	おたかの森小学校区が開校し、16地区社会福祉協議会となり、地区敬老行事の今後のあり方について研究していく。	取組の課題	地区社会福祉協議会主催又は共催する敬老行事は減少傾向にある。
今年度(H29)に実施した取組	平成29年度は16地区社会福祉協議会で地区敬老行事を展開した。	今後(H30以降)の改善計画	引き続き、地区敬老行事が活性化するように今後のありかたについて研究していく。